

第 5 巻 第 7 号予告

グラフ

- 骨 X 線像の基礎知識 (3)「東京医科歯科大学 大田 仁史
切断直後の義肢装着兵庫玉津福祉センター 沢村 誠志

展 望

- 切断直後の義肢装着兵庫玉津福祉センター 沢村 誠志
血友病のリハビリテーション伊藤病院 奈良 勲

講 座

- 骨 X 線像の基礎知識 (3)東京医科歯科大学 大田 仁史
運動療法の実際 (最終回)阪大病院 武富 由雄

器具の管理

- 運動療法室における器具の配置中央鉄道病院 山北 雅一
ADL 室の配置大阪府成人病センター 辰巳三代子

私の職場

- 神奈川県立こども医療センターこども医療センター 弘田 光春

PT 学会から

- 臨床医学研究論国立療養所 東京病院 砂原 茂一
生体における制御機構日本大学 石川 友衛

OT 学会から

- OT 評価について都身障センター 寺山久美子

研究と報告

- 脳性マヒ児に対する発育評価法九州リハ大学校 サダコ・ヴァルガス
固有感覚障害患者のリハビリテーションにおける一工夫伊藤病院 荻島 秀男
精神科における保護工場の一例高茶屋病院 大橋 博
とびら玉造整形外科病院 福本 安甫

編集後記

編集部が交替しましたのでお知らせします。前任乾室長に変わって内田辰之室長、彼は昭和 1 ケタ生れで、九州は佐世保の出身、早大法学部を卒業後、当社に勤務、以来 Kleine の分野を担当してきた。したがって外、内科分野に弱い点があるが、昨年 3 月まで九州出張所を切りもりしていたので、当地にはおなじみの方もいらっしゃるかと思います。

何よりも苦勞人であることを誇りにし、額のシワの 1 つ 1 つに、あるいは白髪の 1 本 1 本にいふ銀の魅力があると本人は思っているらしい。

また紅一点の矢島に変わりましたは岩元昭紀が担当いたします。

彼もまた九州は鹿児島出身、昭和 2 ケタ生まれ、早大卒、学生時代は西洋哲学を専攻したとの話であるが、実際のところ彼の口からカント、ヘーゲル、マルクス、デカルトなどの言葉はその端くれさえも聞かれぬ。

性格は温好、そのパーソナリティーを買われて

これまでの担当は婦人科、産科、泌尿器科と下半身が主体をなしていた。よく笑う人で、彼の笑い顔はむしろ東洋の神秘主義を思わせる。

かく申す私は、相変らずペーペーの下っ端で、私だけがこの雑誌の担当を続けることになりました。

昭和 20 年生まれ、静岡は浜松の出身、2 人のご老体を影でささえていかななくてはならない、たいへんな身の上。さて前任者に劣らないコンピネーションプレーを維持できますことや。

ともあれ私たち 3 人の編集部は編集委員会の諸で、先生がたや、読者のみなさまのお力添えを得ましつつがなくその仕事を遂行したいと願っております。どうぞよろしく。

さて次号は「脳卒中のリハビリテーション」特集号です。単行本でもこれだけのものはないであろうと一同自負しているシロモノです。

どうぞご期待ください。

(M)

編集委員

砂原 茂一
国立療養所東京病院長
上 田 敏
東大病院リハビリ部
高 橋 勇
整肢療護園医務部長
松 村 秩
福 屋 靖 子
野 本 卓
日本理学療法士協会
鈴 木 明 子
寺 山 久美子
横 田 和 子
日本作業療法士協会

編集顧問

相 沢 豊 三
秋 元 波留夫
天 児 民 和
飯 野 三 郎
大 島 良 雄
勝木 司馬之助
河 邨 文一郎
小 池 文 英
児 玉 俊 夫
杉 山 尚
椿 忠 雄
津 山 直 一
水 野 祥太郎

編集同人

浅 野 達 雄
井 上 正 吾
遠 藤 文 雄
大 塚 欣 壮
荻 島 秀 男
小 野 啓 郎
中 村 裕
浜 島 良 知
原 武 郎
細 川 忠 義
宮 地 昭 郎
和 才 嘉 昭
米 倉 豊 子
(担当 内田・岩元・三輪)